

VISUALIZE THE FUTURE



2022年3月期 第3四半期

# 決算補足説明資料

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2022年2月10日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

会社概要	3
中期経営計画の基本方針	4
2022年3月期 第3四半期決算ハイライト	
損益計算書	5
事業別／分野別売上高	6
貸借対照表	7
2022年3月期 第3四半期トピックス	8
2022年3月期 通期業績予想	9
ご参考) 当社4月以降本日までの活動状況	10

世界有数のグラフィックスIPベンダーとしての創業以来の経験・知見を活かし、近年は**アルゴリズム・ソフトウェアからハードウェア**、並びに**エッジからクラウド**に亘る一貫したAIサービスの提供により、お客様や社会の課題解決に貢献しています

会社名	株式会社デジタルメディアプロフェッショナル (DMP)
設立	2002年7月 (2011年6月東証マザーズ上場)
所在地	東京都中野区
代表者	代表取締役会長CEO 山本 達夫 代表取締役社長COO 大澤 剛
資本金	1,838百万円
連結従業員数	65名 (2021年3月末現在)
特許数	35件
連結子会社	Digital Media Professionals Vietnam Company Limited

## IPコアライセンス事業

- ・AI/GPU IPコアライセンス
- ・AIソフトウェアライセンス



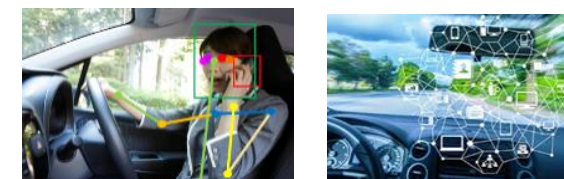
## 製品事業

- ・アミューズメント市場向け画像処理半導体
- ・AI FPGAモジュール
- ・協働ロボット向けビジョンシステム

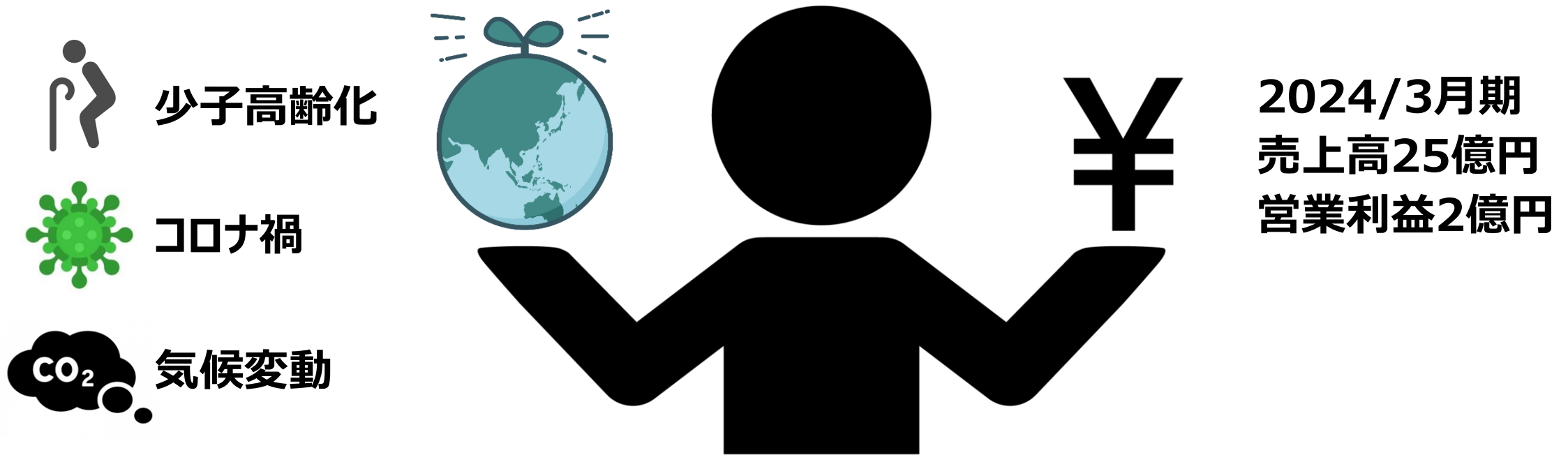


## プロフェッショナルサービス事業

- ・AIアルゴリズム、コンピュータビジョンソフトウェア受託開発
- ・FPGA/ボード受託開発
- ・安全運転支援システム、ロボティクスに係る顧客製品・サービス開発サポート



社会・環境課題の解決に貢献することによって、収益/利益を獲得し、企業価値を向上させるCSV (Creating Shared Value) 経営を実現



## 各事業、注力・主力分野の活性化により大幅増収。10~12月は黒字化

(単位：百万円)	2021年3月期 第3四半期	2022年3月期 第3四半期	増減額
売上高	834	<b>1,279</b>	<b>+445</b>
営業利益	△294	△ <b>91</b>	<b>+202</b>
経常利益	△242	△ <b>90</b>	<b>+152</b>
親会社株主に帰属 する四半期純利益	△244	△ <b>91</b>	<b>+152</b>

- IPコアライセンス事業、製品事業及びプロフェッショナルサービス事業の3事業全ての増収により、売上高は53.4%の増収、営業損失は202百万円改善。第3四半期のみ（10~12月）では黒字転換
- 前年同期に営業外収益に計上したNEDOプロジェクトに関わる助成金収入53百万円が剥落したものの、経常損失、親会社株主に帰属する四半期純損失は前年度比152百万円改善

- 安全運転支援分野は、新規顧客/プロジェクト向けIPライセンス、プロフェッショナルサービスが活性化
- ロボティクス分野は、PoCを中心としたビジネス案件が増加するとともに、製品事業も立ち上がる

## ● 事業別売上高

**IPコアライセンス事業** 132百万円 前年同期 101百万円

- デジタル機器向けGPU IP新規ライセンス/ランニングロイヤリティ、安全運転支援・ロボティクス分野向け新規IPライセンス/サポート収入、安全運転支援分野におけるリカーリング収益を計上

**製品事業** 955百万円 前年同期 600百万円

- RS1の量産向け、ドローン量産向けカメラモジュール、Cambrian社ビジョンシステム等の売上を計上

**プロフェッショナルサービス事業** 191百万円 前年同期 132百万円

- NEDO AIエッジコンテストの受託収入剥落も、安全運転支援分野、ロボティクス分野向けAI受託開発サービスが活発化

## ● 分野別売上高

**安全運転支援分野** 78百万円 前年同期 14百万円

- リカーリング収益を含むIPライセンス、プロフェッショナルサービスが活発化

**ロボティクス分野** 196百万円 前年同期 102百万円

- IPライセンス収入の計上、製品事業におけるドローン量産向けカメラモジュールやCambrian社ビジョンシステムの売上計上に加え、AI受託開発案件が活発化

**アミューズメント分野** 919百万円 前年同期 598百万円

- RS1の量産出荷売上を計上

**その他分野** 85百万円 前年同期 119百万円

- デジタル機器向けGPU IP新規ライセンス/ランニングロイヤリティ収入等を計上したものの、前年同期に計上したNEDOからの受託収入が剥落

## ビジネス拡大に伴い総資産増加。自己資本比率は87.0%

(単位：百万円)		2021年 3月末	2021年 12月末	増減額	主な要因
	流動資産	2,736	2,911	+174	売掛金及び契約資産 +364 現金及び預金 △98 棚卸資産 △31 その他 △49
	固定資産	740	723	△17	投資有価証券 +42 ソフトウェア △40
<b>資産合計</b>		<b>3,477</b>	<b>3,634</b>	<b>+157</b>	
	流動負債	208	453	+245	買掛金 +236
	固定負債	18	18	+0	
<b>負債合計</b>		<b>227</b>	<b>472</b>	<b>+245</b>	
<b>純資産合計</b>		<b>3,250</b>	<b>3,162</b>	<b>△87</b>	利益剰余金 △91
<b>負債・純資産合計</b>		<b>3,477</b>	<b>3,634</b>	<b>+157</b>	

## アミューズメント分野で来期以降の安定収益を確保するとともに、注力分野における製品・サービス開発、顧客ベース拡大、技術提携等の取り組みを強化・加速

### ● ロボティクス分野

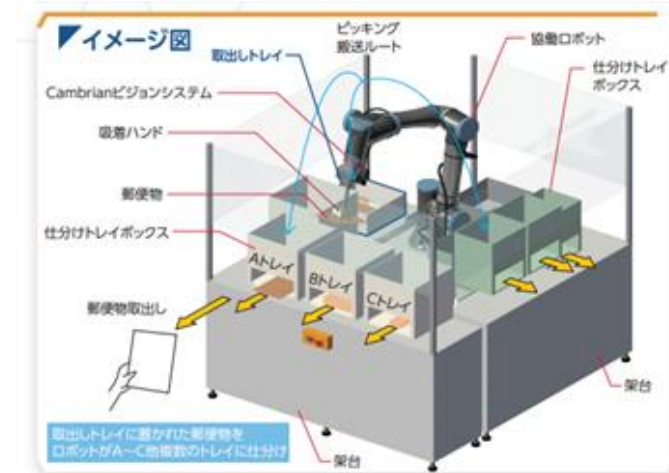
- Cambrian社ビジョンシステムのビジネス拡大  
高島ロボットマーケティングと「郵便物自動仕分けシステム」を共同開発するなど用途開発を進めるとともに、最終顧客の省人化や生産性向上に向けた具体的案件に進捗
- 業務資本提携先のヤマハ発動機の陸海空に亘る製品へのAI実装プロジェクトを中心にPoCプロジェクトや実用化案件が進捗

### ● 安全運転支援分野

- 既存プロジェクトからのリカーリング収益を獲得するとともに、新規顧客や既存顧客の新規プロジェクト向けにIPコアライセンス、プロフェッショナルサービスを提供

### ● アミューズメント分野

- 新たに2022年4月以降顧客納入予定のRS1の大型受注1,308百万円を獲得  
(中期経営計画の2023年3月期計画値15億円の87%を確保)



郵便物自動仕分けシステム



- 第3四半期累計の売上高進捗率（対通期予想）は78%
- 10~12月の3ヶ月では黒字に転換

(単位：百万円)	2021年3月期 通期実績	2022年3月期 第3四半期実績	2022年3月期 通期予想
売上高	1,009	1,279	<b>1,650</b>
営業利益	△425	△91	△ <b>200</b>
経常利益	△361	△90	△ <b>200</b>
親会社株主に帰属する 当期純利益	△364	△91	△ <b>202</b>

- 第3四半期累計は、注力・主力分野の活性化により、前年同期比大幅増収、損失大幅改善
- 第4四半期は、RS1の量産出荷の継続に加え、ロボティクス分野のPoC案件刈り取り、安全運転支援分野の既存／新規顧客からの収益獲得を見込む
- 現段階では、11月10日公表の通期連結業績予想を据え置く

# ご参考) 当社4月以降本日までの活動状況

各項目は当社ウェブサイトのPR/IRニュースにリンクしています

発表/開催日	内容
2021年4月9日	<a href="#">協働ロボット向けビジョンシステムの開発・販売を行っている米国Cambrian社と資本・業務提携</a>
2021年4月9日	<a href="#">中期事業方向性に関するお知らせ</a>
2021年4月9日	<a href="#">ヤマハ発動機との協業成果としてカメラシステムの外販を開始</a>
2021年4月23日	<a href="#">ZIA™ Showcaseを公開</a>
2021年5月14日	<a href="#">中期経営計画に関するお知らせ</a>
2021年5月14日	<a href="#">ロボティックビークルの自動・自律運转向け統合ソフトウェアプラットフォーム「ZIA™ MOVE」を開発</a>
2021年5月14日	<a href="#">ドローン向けワイヤー検出のAI認識モデル「ZIA™ Wire」を開発</a>
2021年6月23-25日	<a href="#">「INDUSTRY-FRONTIER 2021」リョーサンブースにてDMPの安全監視AI認識ソフトウェアを活用した協働ロボットのデモを展示</a>
2021年6月29日	<a href="#">ソニー製イメージセンサーIMX390のHDR機能に対応したZIA™ ISPの提供開始</a>
2021年6月29日	<a href="#">PALTEK主催ウェビナーにて講演（ロボティクス/自動搬送に適した高精細画像処理KITとAI推論モジュールのご提案）</a>
2021年7月7日	<a href="#">ロボティクス分野でITD Lab社と連携</a>
2021年8月11日	<a href="#">アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の大型受注に関するお知らせ</a>
2021年8月28日	<a href="#">個人投資家向けIRセミナー開催</a>
2021年10月12日	<a href="#">事業計画及び成長可能性に関する事項</a>
2021年11月8日	<a href="#">JEVeC主催 展示講演会参加</a>
2021年11月10日	<a href="#">DMPとマクニカ、低速モビリティ向け自動・自律運転及び安全運転支援ソリューション構築のため協業</a>
2021年11月29日～12月10日	<a href="#">COLLABORATE - URオンライン展示会2021 AUTUMN 出展</a>
2022年1月13日	<a href="#">高島ロボットマーケティングと協働ロボットとAI搭載3Dカメラを活用した「郵便物自動仕分けシステム」を共同開発、提供開始</a>
2022年2月10日	<a href="#">アミューズメント市場向け画像処理半導体「RS1」の大型受注に関するお知らせ</a>

<お問い合わせ先>

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル 経営企画部

TEL:03-6454-0450

URL: <https://www.dmprof.com/jp/ir/>

- 本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。
- 本資料は、弊社をご理解いただくための情報提供を目的としたものであり、弊社が発行する有価証券への投資を勧誘するものではありません。本資料に全面的に依拠した投資等の判断は差し控え願います。